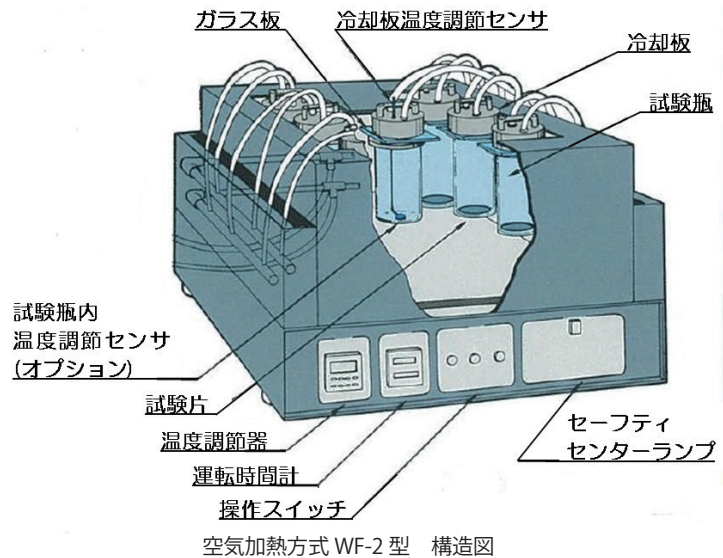


ウィンドスクリーンフォギングテスター WF-1・WF-2 * 玉田宏一

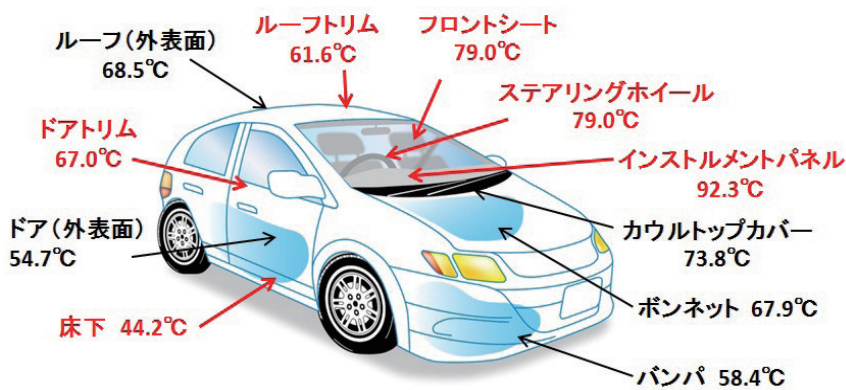
自動車内装材の揮発成分による影響を評価。



■概要

自動車内装材(ゴム・プラスチック・繊維・皮革など)には多くの添加物や接着剤が用いられており、特に夏場の閉め切った車内は非常に高温になり、内装材も高温下の環境にさらされます。本装置は、高温下にさらされる自動車内装材から発生する揮発成分が、温度差によりフロントガラス面に付着し視界を妨げる現象を促進再現します。本装置は、試験片を入れた試験瓶を外側より加熱

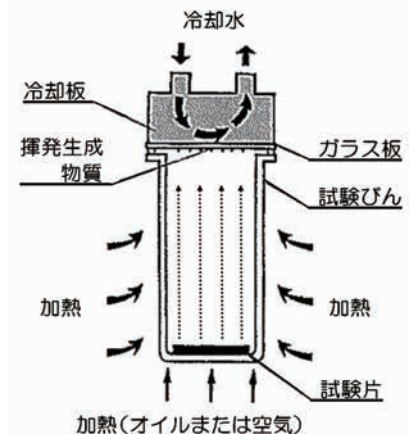
し、試験片からの揮発生成物質を冷却したガラス板に付着させるものです。付着後は鏡面光沢度またはヘーズ(曇り度)を測定し評価します。試験びんの加熱方式は、WF-1 型は ISO 6452 準拠のオイル加熱方式、WF-2 型はより取扱いが容易な空気加熱方式です。オイル加熱方式、空気加熱方式のどちらとも同じ結果が得られます。



赤字：内装温度
外気温 37.6°C

2012年7月19日スガ試験機株式会社測定

自動車各部位の最高表面温度測定例



揮発生成物質が付着する様子

■特長

1. 空気加熱による正確な試験温度制御 (WF-2 型)
試験瓶の外にセンサを置いて温度制御するため、試験温度が正確。(オプションで試験びん内の試験片位置にセンサを置いて温度制御することも可能です。)
2. 水冷却式冷却板による正確な冷却温度制御
冷却板内にセンサを設けて水温を制御するため、ガラス板の冷却温度が正確。
3. ガラス板は、錫引面とは反対の面を試験面とするため、1枚ずつ試験面を確認し、マークを付けています。



オイル加熱方式 WF-1 型 試験槽上面

＜特殊仕様対応＞

自動車メーカー各社様の試験仕様に応じて、試験瓶寸法、ガラス板寸法、試験瓶取付部、オイルバスへの浸漬深さなどが異なります。製作時に予めご指定願います。

■ウィンドスクリーンフォギングテスターの仕様と規格一覧

No.	項目	ウィンドスクリーンフォギングテスター		試験規格	
		WF-1型	WF-2型	ISO 6452	DIN 75201
1	加熱方式	オイル	空気	オイル	オイル
2	試験瓶(mm) ※	外径φ90×190 6個(つば有)	外径φ90×190 7個(つば有)	外径φ90×190±1(つば有)	外径φ90×190(つば有)
3	ガラス板寸法(mm) ※	110×110×t3	110×110×t3	110×110×t3±0.2	110×110×t3
4	SUS板寸法 ※	—	—	—	—
5	パッキン寸法(mm)	φ96×φ106×t2	φ96×φ106×t2	内径φ90~95 t2~4 シリコンゴム	内径φ95~100 t2 シリコンゴム
6	試験片	—	—	φ80±1 t10 mm	50cm ² 円形 最大厚さ50mm
7	金属リング	—	—	φ74×φ80×t10 55±1g 耐食性金属	φ74×t10 55±1g 耐食性金属
8	試験温度(°C)	60~150	60~150	100	60~120
9	ガラス板冷却温度(°C)	20~40	20~40	21	21
10	ガラス板冷却装置(°C)	冷却水循環方式			
11	試験びん水没深さ(mm) ※	132	加熱部132	132±2	132±2
12	電源容量	単相200V 約21A	単相100V 約20A	—	—
13	本体寸法(cm)	約幅81×奥行77×高さ90	約幅75×奥行85×高さ136	—	—
14	運転質量(kg)	約140	約115	—	—

※自動車メーカー各社様の試験仕様に応じて仕様を指定頂く必要があります。

* 製造本部 次長